

年鑑を使ってみよう！

2月の図書の時間に特別授業として図書館司書より、年鑑の使い方や活用方法の授業を行いました。

「朝日ジュニア学習年鑑」を使用しました。

～年鑑の特徴～

- ・「時事ニュース解説」、「キッズミニ百科」、「統計編」の3つで構成
- ・統計はグラフや図表が多くて、その資料が新しく、数値がはっきり示されていて見やすい。



子どもたちに年鑑のことを聞くと「何となく知ってはいるけど、具体的に何が載っているのかはわからない」、「使ったことがない」という人がほとんどでした。

調べるときに、分野が分かっている場合は「大項目」や「中項目」、キーワードが分かっている場合は「さくいん」を活用して、自分が調べたい資料を探することができることを学びました。

説明を受けた後は、1人1冊の年鑑を使用して、練習問題「白菜の取れ高と主要生産県」に取り組みました。1年間をもとにした資料なので、データの規模が大きく、単位を読み間違えてしまう人が多くいました。しかし、穂積先生にポイントを教えてもらうと、納得して正しく読み取れるようになりました。



高学年では、調べ学習で資料を集める機会が多くあります。年鑑の学習を通して学んだことをこれからの学習に活かしてほしいです。